

教 え 子 を 再 び 戦 場 に 送 る な !

教科書採択に、現場の声を反映させよう！

律は、具体的な採択方法を定め

来年度の小学校教科書の採択に向け、各学校に見本本がまわっています。豊中では、以前、全校から全教科の検討委員

を出し、各学校で検討された内容を集約して教科書を選び、それを教育委員会が採用するという方法をとっていました。時間的に制約があり、不十分ではあったけれども、一人ひとりの教師の意見が反映されるやり方でした。

とところが、「新しい歴史教科書をつくる会」が、「小・中学校で使用されている教科書は、日本軍の侵略戦争や戦争犯罪を記述しているため子どもたちに『自虐史観』を植え付ける」として攻撃し、「つくる会」が作成した教科書を採用させる運動を全国的にとりくみまし

た。国会議員や地方議員に採用を働きかけたり、一部マスコミとともに教科書攻撃のキャンペーンを展開しました。

現在巡回している見本本は、各学校で検討し、学校長が意見を集約して教育委員会に上げることになっています。忙しいなかですが、検討する時間を確保し、同時に、より現場の意見を反映できる採択方法を、教育委員会に届けていきたいと思います。

その結果、豊中市は、二〇〇二年度使用の教科書から、教科書の調査員も選定委員も教育委員会が秘密裡に委嘱して採択するという方法を取ったのです。

これは、現場の声を反映しにくいだけでなく、調査委員に選ばれた人にも非常に重い負担を強いることになり、短い期間で、全ての教科書会社のすべての学年の教科書を検討しなければならぬからです。

教科書の採択を教育委員会が行っているのは、「義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律」

「教科書の発行に関する臨時措置法」にもとづいてい

るからですが、これらの法



全教

2010年5月25日

NO. 453

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

伊丹廃港問題

どう考える

テレビをつければ、橋下知事が登場し、「伊丹空港廃港論」を展開していることがしばしば。

おとなりの箕面市議会では箕面までの北大阪急行延伸と引き換えに「廃港決議」をあげ、大阪府議会も「中長期的な廃港を考える」とする決議を可決。一方、兵庫県議会、豊中市議会は「存続」決議をあげました。

国内線乗降客は関空の3倍

伊丹空港は、国が管理する26空港（国際線重点の成田・関空を除く）の中で、最も黒字が多い空港です。

【国交省・空港別収支試算結果（06年度）】

乗降客数も1538万人で、26空港のうち、羽田、新千歳、福岡に次いで4番

目の多さ。関空の約3倍、神戸空港の約6倍の乗降客が存在しています。

民活方式―多額の借金が

関西空港は1兆円を超える有利子負債を抱えています。経営危機に陥った原因は何でしょうか。

国の法律では第1種国際空港は国の責任で造ると明記されていますが、当時の自民党内閣、府議会の「オール与党」が応援。関西財界が株式会社（民間活方式）で建設・運営し、地元も負担することになりました。

1・2期工事計2兆6千億円。そのうち府民の税金（府の負担）は1600億円、府民1人当たり約2万円を、直接負担したことになります。

リニア―短縮わずか数分

橋下知事は、地下鉄なわ筋線や関空リニアを造るなどと言っています。地下鉄は試算で3千億〜3500億円かかるとしています。ところが関空へのアクセス時間はたった6〜7分短縮されるだけ。

今、各地の空港需要の甘さが指摘されていますが、JR東海の「JRが07年度までのようにもうかる」

「人口減少社会なのに客は1・5倍に増える」との甘い見通しでも、リニアが東京〜大阪に開通するのは35年のち。「だから伊丹廃港だ」というのはまったく非現実的です。

知事の発言は「空理空論」

日本は、サミット参加国の中で、唯一成長が止まり、国民の収入が減った国とされています。府

民の収入の落ち込みは全国平均の3倍。「飛行場をつくればたくさんの方が来る」

「アジアの需要を関空に取り込む」と言っても、言葉だけであり、空理空論です。かつて関空が出来て大阪湾岸ベイエリアが開発されれば、関西経済はバラ色と描いていたことが、破綻しています。それと同じ過ちを繰り返すことになりはしないでしょうか。

大阪空港の歴史

1936年	大阪第2飛行場として開設 田園地帯、工場煤煙のない適地
戦時中	軍用飛行場
戦後	米軍伊丹基地として使用
1958年	米軍返還
1959年	第1種空港 「大阪国際空港」
1970年ごろ	騒音公害問題 住民が損害賠償9時以降の飛行差し止め求め裁判
1990年	地元11市と運輸省で存続決定 国内線基幹空港に

『全国青年大集会二〇一〇』に参加して

二〇〇八年一〇月に全国から四六〇〇人の青年が集まった「全国青年大集会」。今年も、東京・明治公園で「ナットクできない派遣法『改正』とりもどそう！働くよるこび生きる希望」をメインスローガンに開催され、五二〇〇人が集まりました。（主催 同実行委員会）集会に参加した北村建一さん（北緑丘）の報告です。

派遣法改正など、安定した仕事がないこの世の中を生きる若者たちの不安や苦しみが、演説を聞くことによって切実に伝わってきました。企業によって雇われたのはいいものの、そこでいくら頑張っても切り捨てられてしまう・・・そんな世の中の不条理さに憤りを

感じました。

教員の世界でも同じことが言えます。小学校の教員の2/3割は、期限付きの講師の先生方で、この先生方がいないと学校がまわっていかないと学校がまわらず、生活がとて不安定で、厳しい生活であるという訴えがありました。それでも、子どもたちの前では頑張らなければならぬ。不安な気持ちを抱えた状態ではなく、雇用が安定し、のびのびした状態で子どもと関わりたいという先生方の言葉に、本当に共感しました。確かに、私たちはお金のためだけに働いているのではありません。目の前の子どもたちの幸せや笑顔のために頑張っています。だからといって、私たちの労働条件がそのまま悪化していったらどうなるでしょうか？

教育がよくなるはずがありません。教員も、一人の人間であり、われわれ青年は、これから家庭を築いていきます。その時に、幸せな人間らしい暮らしができないような賃金や労働時間で、子どもたちに幸せや夢について語る事ができるでしょうか？ 私は、教員という仕事に誇りをもっていきます。しかし、このまま給料がさがっていったら、家族の生活もままならないという状態になっても、同じ事を胸をはって言えるかという事は疑問です。子どもたちに将来の夢を語る教員が、将来に不安をもつていては、子どもにいくら夢を語っても、何の意味もなさないと思います。



夢を持つことは、本当にすばらしいことです。しかし、今の世の中では、勉強したくても学費が高すぎたり、働きたくても職がなかったり、条件がわるかったり、本当に人間らしい暮らしが、安心してできない時代になっていることを、この集会をおおして肌で感じました。原宿から表参道を通って青山へと、日本一の人通りといっても過言ではない場所、その切実な願いを叫びながらアピールウォークできたことは、私にとって大きな人生経験になりました。次回もぜひ参加して、さまざまな職業の若者たちと訴え続けたいと思います。

連続教育講座「POWER UP講座」第3回

みんながわかる・できる・伝える器械運動講座

中学校の生徒指導講座

5月15日、

豊中1中で「跳び箱で教えたいことと指導の実際」安武一雄さん（吹田市・体育同志会）の実技講座と、「思春期真っ只中の生徒を相手にする、中学校における生徒指導を考える」と池田和幸（全教とよなか執行委員長）が問題提起する交流会を開催。43名の参加がありました。

中学校講座では「学校のわくを越えてお話しできて大変良かった」と大いに盛り上がり、「教師同士が今の現状を話したり語り合う場が少なくなりましたので…久

しぶりだなあ、本当に今、

ないなあと感じました（八中女性）」「今回はチーム力についてさらに討論したいです。教育課程や時間割についても交流したい（四中男性）」との感想が寄せられました。

跳び箱講座は、「跳び箱が障害物ではなく表現するための道具ということを知りました（萱野東小女性）」と驚きの声が上がった。「運動文化」のお話から始まり、「かわいいネーミングの割にすごい運動量

（刀根山小女性）」

と好

評の

『ネコちゃん体操』

でウォーミングアップ。

最後は全員が

（ヘッドスタンド）から（ヘッドスプリング）を体



「早速授業に取り入れた

り入れた

い（上

野小男

性）」

験しました。

「ヘッドスプリングは私が一度やってみたかった（箕輪小女性）」「段階を追っての指導を身をもって体感し、できる達成感を味わうことができました（寺内小男性）」「子どもたちにもこの体験をさせてあげたい（萱野東小男性）」「みんなが楽しめる授業づくりを目指していきたい（刀根山小女性）」「実践的な授業でとても楽しかった（新田南小女性）」と多くの感想をいただきました。

